



沖縄県
JICA 沖縄
2024年1月10日

報道関係者各位

カンボジア地雷対策センターの研修員受入について
～ J I C A 草の根技術協力事業の本邦研修開講式～

沖縄県は、カンボジア地雷対策センター（CMAC）の「地雷対策を通じた平和と人間の安全保障の啓発・普及のための博物館づくり」において、昨年11月6日に、人材育成や展示物作成の技術協力に係る覚書を交わし、事業をスタートしたところです。

この度、CMACから研修員4人を迎え、本邦研修を実施いたします。下記のとおり開講式を行いますので、取材いただきますようお願いいたします。

記

1 日 時：令和6年1月15日(月) 13:00～13:30

2 場 所：沖縄県平和祈念資料館 2階 大会議室

3 主な参加者

沖 縄 県：平和祈念資料館 前川 早由利 館長
女性力・平和推進課 島津 典子 課長
県立博物館・美術館 園原 謙 主任学芸員

OPAC：仲泊 和枝 理事長

CMAC：研修員4人

チェン センチィ/PMMA サイトマネージャー
シム パンジャ/PMMA インテリアデザイナー
シー エンダラリット/PMMA インテリアデザイナー
ポー マカラ/PMMA のデータベースと情報管理担当

（“PMMA”：CMACが運営する平和博物館。Peace Museum of Mine Actionの略）

（“OPAC”：Okinawa Peace Assistance Center 特定非営利活動法人沖縄平和協力センター）

4 開講式次第

1. 開式
2. あいさつ（前川 早由利 沖縄県平和祈念資料館 館長）
3. 研修関係者紹介
4. 研修員自己紹介（4人）

5. 研修員代表挨拶

6. 閉式

5 取材対応： 13:30～13:45 (約 15分)

開講式終了後、同会議室にて取材対応します。

沖 縄 県：女性力・平和推進課、平和祈念資料館、県立博物館・美術館

OPAC：仲泊理事長

CMAC：研修員

6 研修日程

令和6年1月15日から令和6年2月8日まで（19日間）

・ 1月25日～1月27日…広島での研修

・ 2月7日、2月8日…平和祈念資料館で成果発表を兼ねた写真展

7 CMACについて

CMACは、カンボジアにおける人道的な地雷・不発弾除去活動を行う公的組織として1992年の設立以来、独自の努力や各国の協力を得て取り組みを続けており、地雷対策の先駆者として、JICA等と協力しながら、今なお地雷被害に苦しむ国々とこれまでに培った知見を共有し、国際的にも高い評価を受けています。近年においては、アンゴラ、コロンビア、ラオス、イラク、ウクライナなどへ技術協力を行っています。

30年前前に紛争を終え、その後も地雷除去を続けてきたカンボジアでは、特に若い世代において紛争の記憶や平和の重要性の認識を語り継ぐことが、紛争を繰り返さないための大きな課題となっています。

一般住民が地上戦に巻き込まれ、多くの命が失われた経験を有する沖縄県では、沖縄県平和祈念資料館などにおいて沖縄戦の実相と教訓を次世代へ継承し、未来に向けて平和を希求する取組を続けており、本協力事業においては、カンボジアの課題解決にその経験を活かし、貢献できるものと考えています。

8 JICA草の根技術協力事業

草の根技術協力事業は、日本のNGO/NPO、地方自治体、大学、民間企業等の法人団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づき、JICAへ事業提案し、事業採択を経て、JICAとの協力関係のもとに実施する国際協力事業です。

以上

【本件に関するお問合せ先】

【JICA草の根技術協力事業全般について】

JICA沖縄 市民参加協力課 吉野：098-876-6000

【研修日程、事業詳細について】

沖縄平和協力センターOPAC 仲泊：098-866-4635

【その他】

沖縄県女性力・平和推進課 新垣：098-866-2500